

第44回 景気動向アンケート報告

(2016年1月～4月期)

＜今期DI値は+11で前年同期比▲1ポイント、来期は+4で前年同期比▲1予測＞

○全体業況判断DI(好転企業数-悪化企業数)÷回答企業数の%、直近3年の推移表

※()の数字は、前年同期比の増減

年	1-4月	5-8月	9-12月	年3期平均値
2013	+8(▲11)	+16(+10)	+26(+22)	+16.7(+11.1)
2014	+24(+16)	+9(▲7)	+6(▲20)	+13.0(▲3.7)
2015	+12(▲12)	+5(▲4)	+24(+18)	+13.7(+0.7)
2016	今期+11(▲1)	来期予測+4(▲1)	-	-

○ 鹿児島の中小企業家の業況判断は、今期(2016年1-4月期)DI+11で、前年同期のDI+12に比べ、▲1ポイント。来期(2016年5-8月期)予測DIは+4で前年同期比▲1の予測。

○ 個別指標実績の前年同期、今期比較は、売上DI+12→+10(▲2)、収益DI+12→+7(▲5)、資金繰りDI+19→+15(▲4)と全指標やや悪化。

○ 業種別業況DIの前年同期比は、悪化幅の大きい順に、建設業DI+22→▲5(▲27)、卸売業DI+50→+25(▲25)、小売業DI+16→+8(▲8)、事業所向けサービス業DI+14→+14(±0)、個人向けサービス業DI±0→+12(+12)、製造業DI▲10→+25(+35)の結果、前期持ち直した建設業が再び落ち込みを見せた。建設業は例年、年度末を含む1-4月期は潤う時期であり、前回調査時の予測も+27であったにも拘らず、実際は▲5となり、意外な結果。

○ 「推移表」()内の前年同期比の推移について

前期(2015年9-12月期)は、DI+24で前年同期比+18と大幅な改善となり、「景気の停滞あるいは下降の懸念を払拭する、上向きの兆しのみえる調査結果となった」と評した。

今回調査を受けて、改めて2014年5-8月期から今期(2016年1-4月期)までの流れを見ると、前期(2015年9-12月期)を例外として、前年同期比はいずれもマイナスであることは確かである。当調査の分析会議においても、「景気が下向きなのではないか」との意見があった。(但し、悪化幅は、2014年9-12月期の▲20を底として順次縮小し、今期は▲1となっていることも付言しておきたい)。

概要

経営上の問題点

今回の調査結果は、1位が価格競争の激化、2位に従業員の不足がランクインしている。前回の調査からみても、従業員の不足は中小企業にとって深刻な問題である。

経営上の力点

1位が付加価値の増大、2位に新規受注(顧客)の確保がランクインしている。付加価値の増大は前回の結果でも1位であった。

熊本地震の影響について

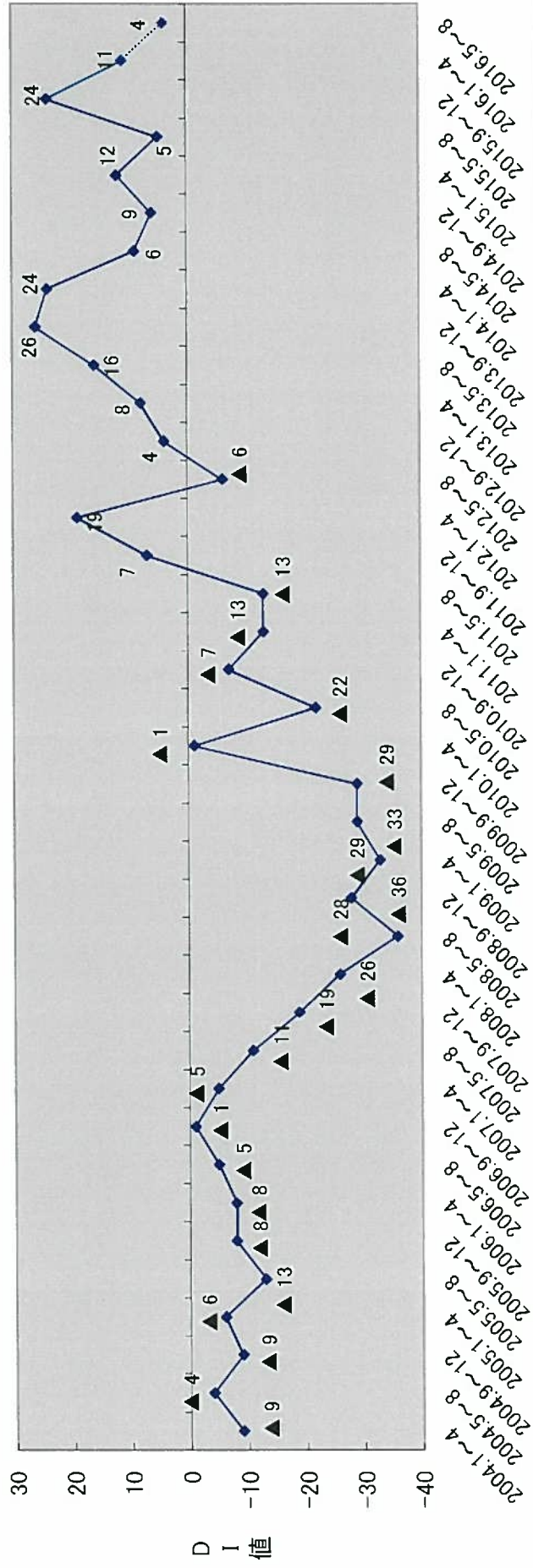
影響の有無については、回答企業の30.1%が「影響を受けた」と回答、具体的な影響としては、「受注のキャンセル」、「流通遮断による品物不足」、「売上減」などの回答が多かった。隣県の地震にも拘らず、69.9%が「影響が無かった」とした。

自社の防災体制について

社屋の耐震化対応は、45.3%が対応済みとした。顧客情報等のバックアップについては、「こまめにとっている」「ときどきとっている」合わせて、90.3%が対応していることが分かった。阪神淡路、東日本震災を経て、熊本地震を目の当たりにした今、事業の継続や雇用の維持という中小企業家の社会的責務に照らして自社の対応は十分なのか、行動のきっかけとしたい。

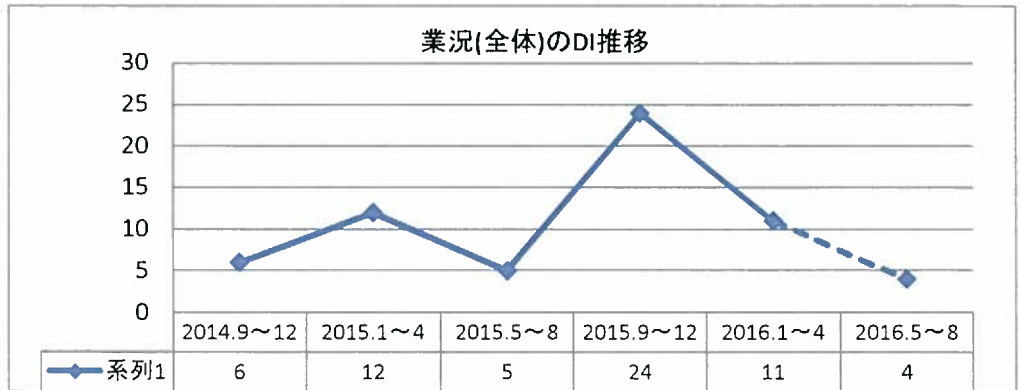
1. 対象企業 鹿児島県中小企業家同友会会員企業 (379 社)
2. 対象期間 2016年1月～4月期実績、2016年5月～8月見通し
3. 調査期間 2016年5月24日～6月14日
3. 調査方法 FAXによる自計記入を求めた
4. 回答企業数 94社より回答を得た (回答率 24.8%)

全体の業況

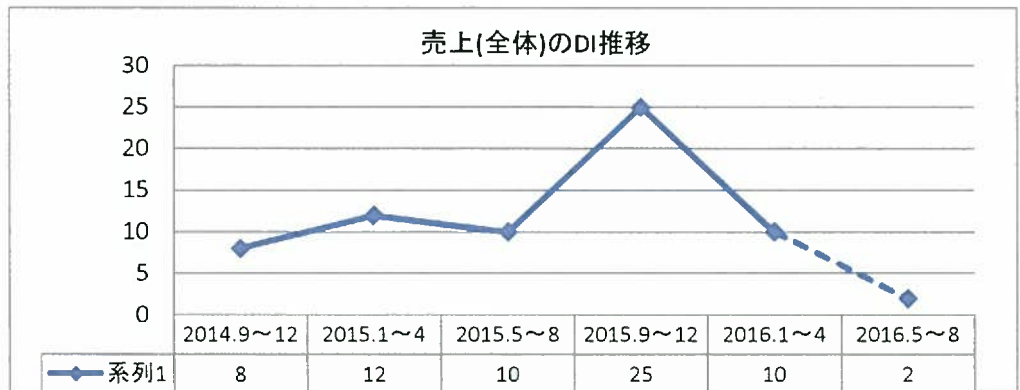


全体

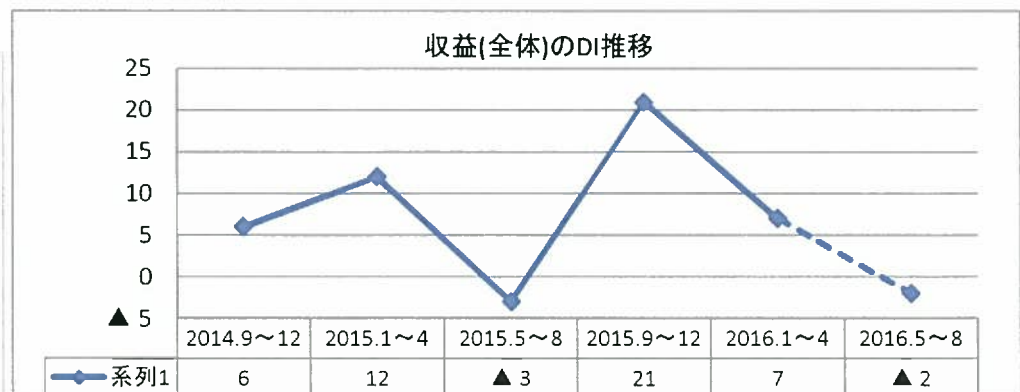
今期の業況は「良い」24.7%、「変わらず」61.3%、「悪い」14.0%でD.I.10となっており、前期に比べ、大きく下降しています。
来期の業況はD.I.4と更に下降する見通しです。



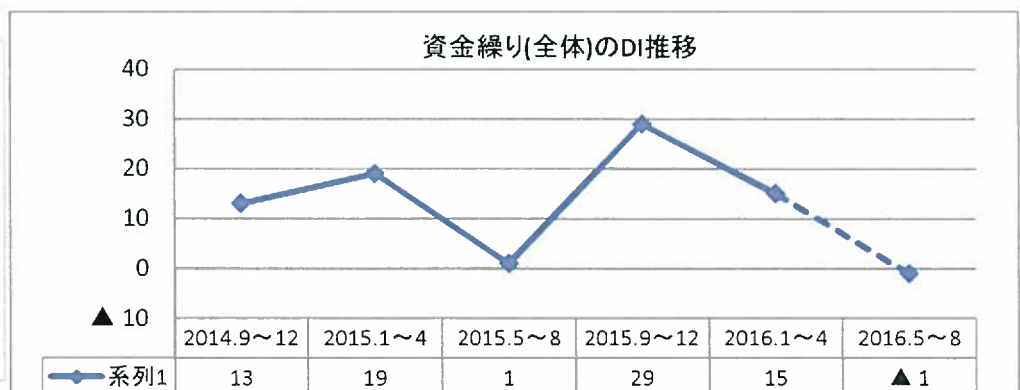
今期の売上は「良い」26.9%、「変わらず」55.9%、「悪い」17.2%でD.I.9となっており、前期に比べ下降しています。
来期の売上はD.I.2と更に大きく落ち込む模様です。



今期の収益は「良い」24.7%、「変わらず」57.0%、「悪い」18.3%でD.I.6となっており、前期に比べ大きく下降しています。
来期の収益はD.I.▲2と更に下降する模様です。

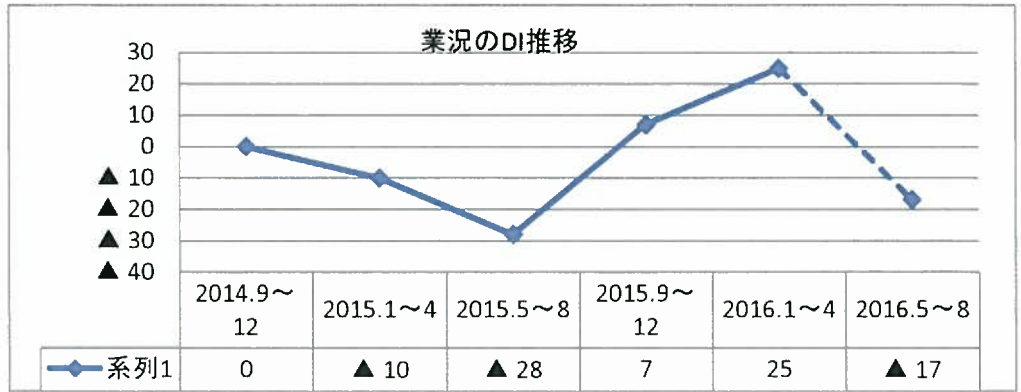


今期の資金繰りは「良い」25.8%、「変わらず」63.4%、「悪い」10.8%でD.I.15となっており、前期に比べ下降しております。
来期の資金繰りはD.I.▲1と更に下降する模様です。



製造業

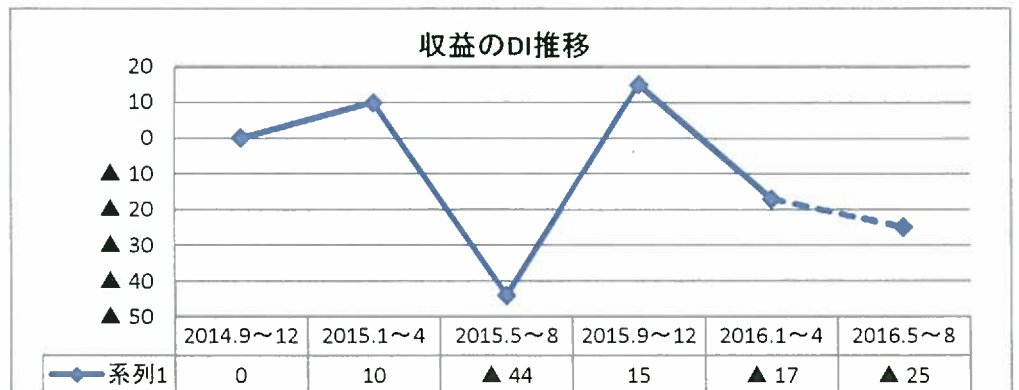
今期の業況は「良い」41.7%、「変わらず」41.7%、「悪い」16.6%でD.I.25となっており、前期に比べ上昇しています。来期の業況はD.I.▲16と大きく下降する模様です。



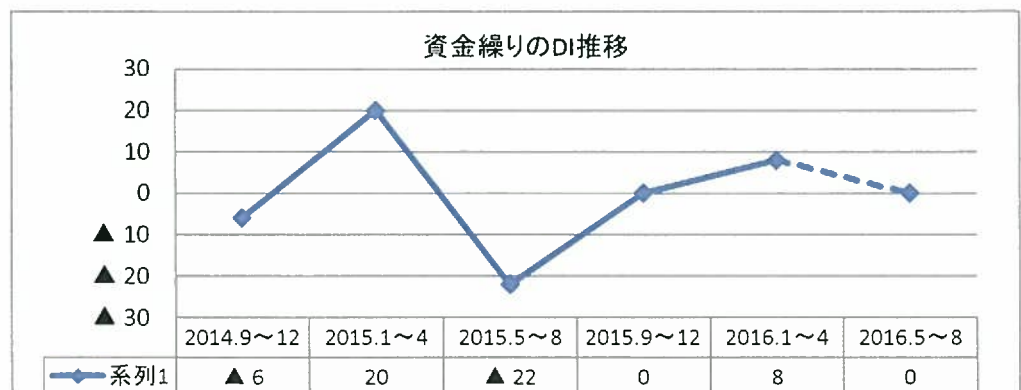
今期の売上は「良い」41.7%、「変わらず」41.7%、「悪い」16.6%でD.I.25となっており、前期に比べ上昇しています。来期の売上はD.I.0と大きく下降の見通しです。



今期の収益は「良い」16.6%、「変わらず」50.0%、「悪い」8.4%でD.I.8となっており、前期に比べ大きく下降しています。来期の収益はD.I.▲25と更に下降の見通しとなっています。

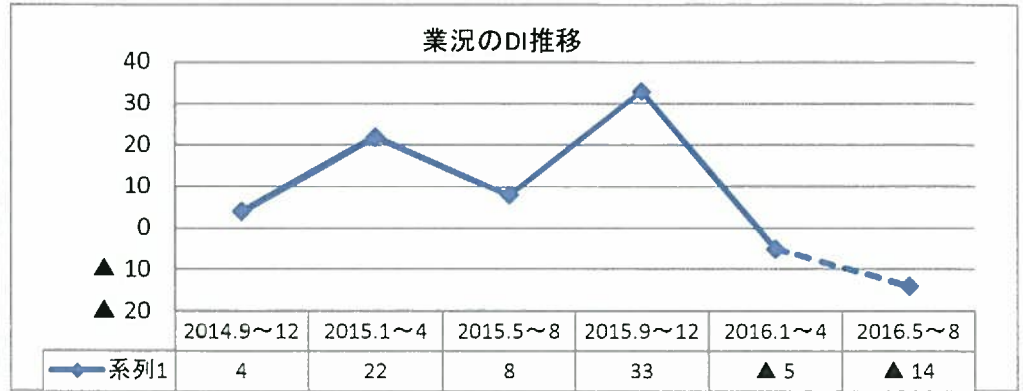


今期の資金繰りは「良い」16.6%、「変わらず」75.0%、「悪い」8.4%でD.I.8となっており、前期に比べ微増しています。来期の資金繰りはD.I.0とやや下降の見通しとなっています。

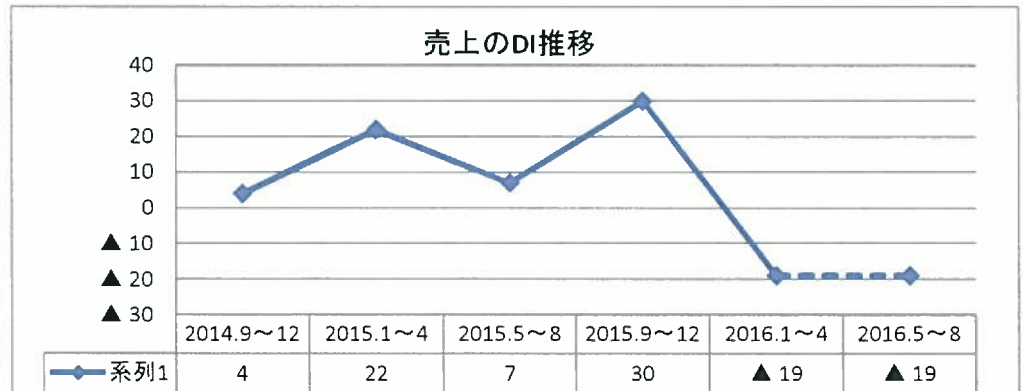


建設業

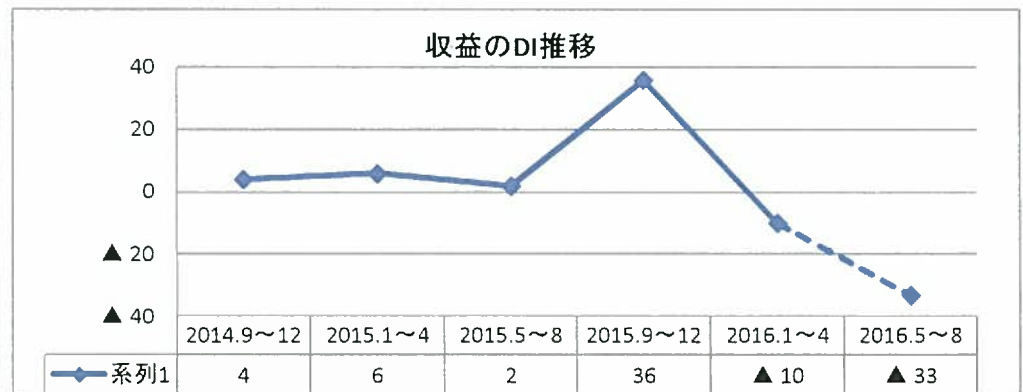
今期の業況は「良い」19.0%、「変わらず」57.1%、「悪い」23.9%でD.I.▲4となっており、前期に比べ大きく下降しました。
来期の業況はD.I.▲14と更に下降する模様です。



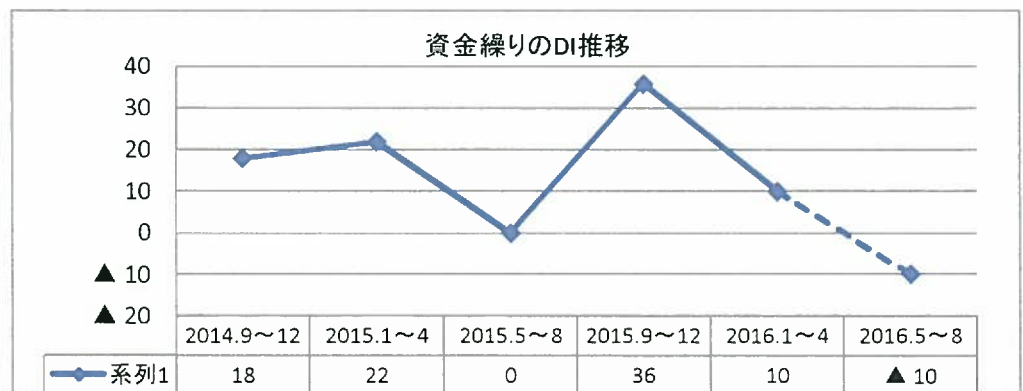
今期の売上は「良い」19.0%、「変わらず」42.9%、「悪い」38.1%でD.I.▲19となっており、前期に比べ大きく下降しています。
来期の売上はD.I.▲19と横並び状態の模様です。



今期の収益は「良い」23.8%、「変わらず」42.9%、「悪い」33.3%でD.I.▲9となっており、前期に比べ大きく下降しています。
来期の収益はD.I.▲33と更に下降する模様です。

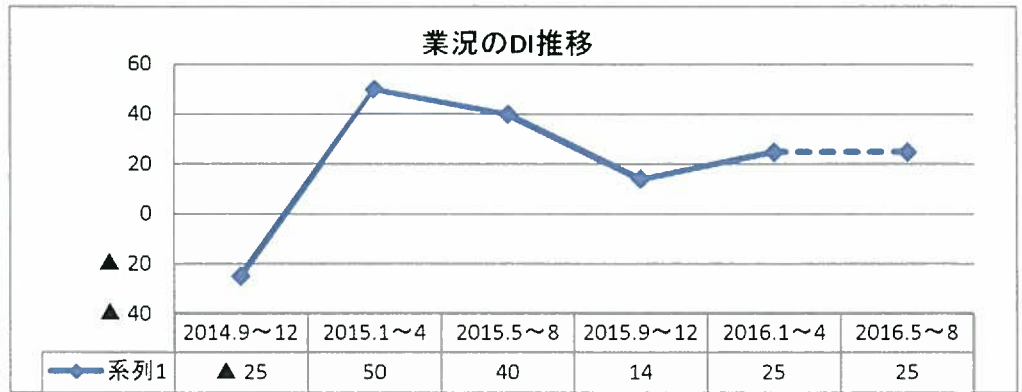


今期の資金繰りは「良い」28.6%、「変わらず」52.4%、「悪い」19.0%でD.I.9となっており、前期に比べ大きく下降しています。
来期の資金繰りはD.I.▲9と更に下降する模様です。

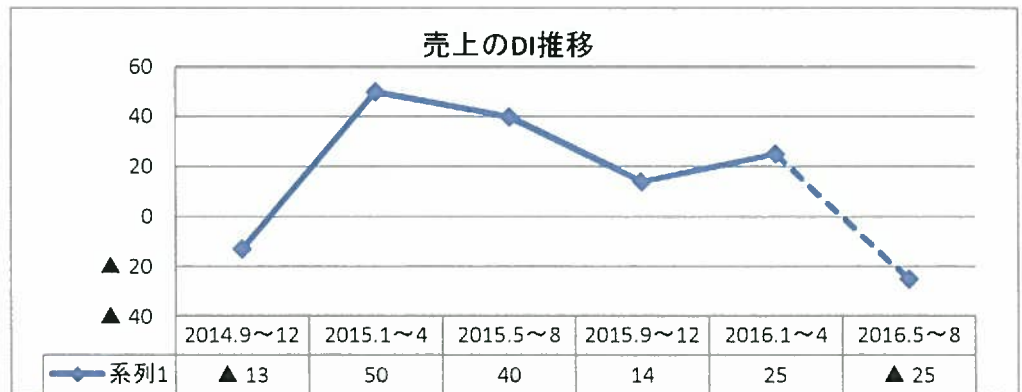


卸売業

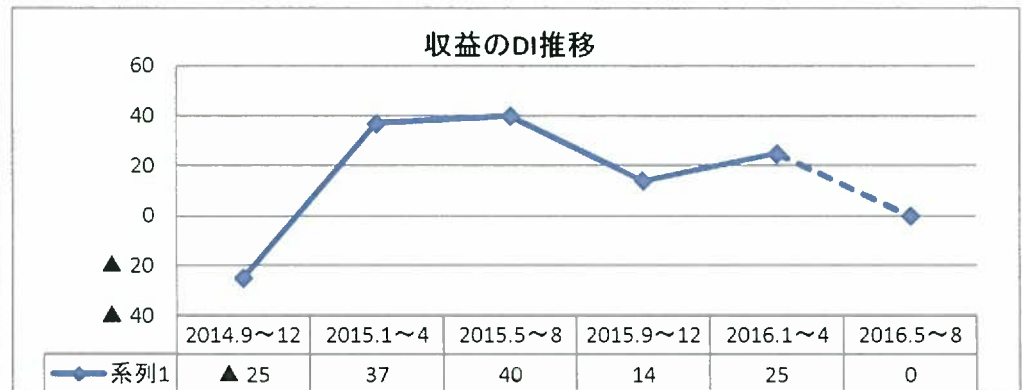
今期の業況は「良い」25.0%、「変わらず」75.0%、「悪い」0%でD.I.25となっており、前期に比べ上昇しています。
来期の業況はD.I.25と横並び状態の見通しです。



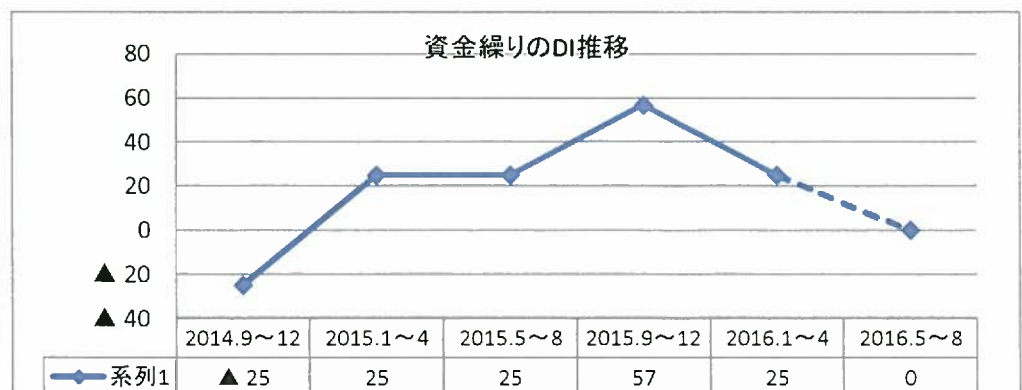
今期の売上は「良い」25.0%、「変わらず」75.0%、「悪い」0%でD.I.25となっており、前期に比べ上昇しています。
来期の売上はD.I.▲25と大きく下降する模様です。



今期の収益は「良い」25.0%、「変わらず」75.0%、「悪い」0%でD.I.25となっており、前期に比べ上昇傾向です。
来期の収益はD.I.0と更に下降する模様です。

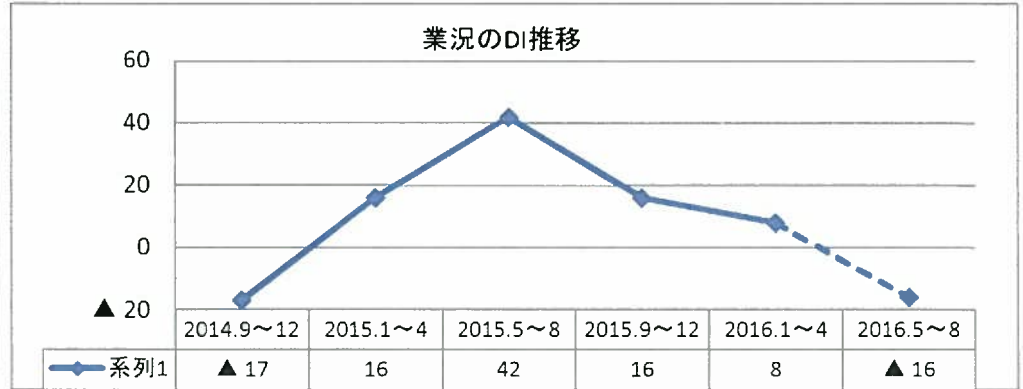


今期の資金繰りは「良い」25.0%、「変わらず」75.0%、「悪い」0%でD.I.25となっており、前期に比べ下降しています。
来期の資金繰りはD.I.0と更に下降する模様です。

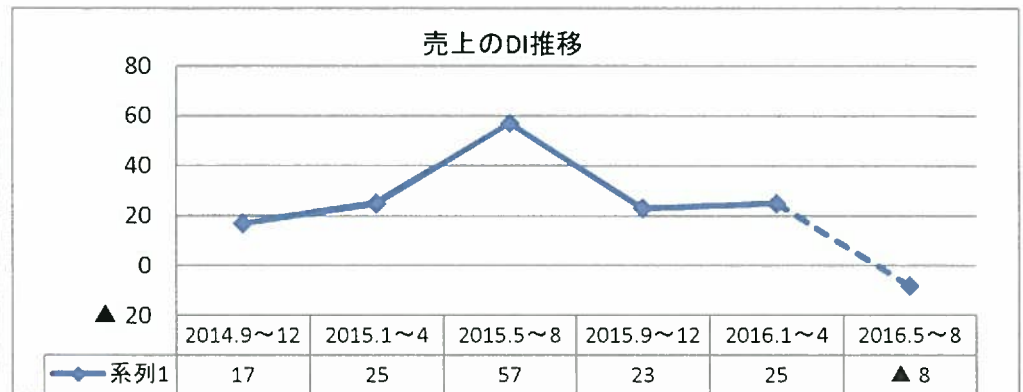


小売業

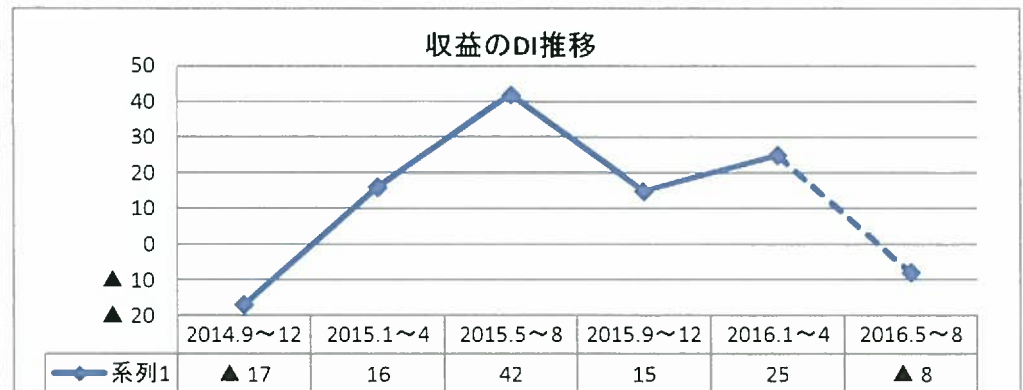
今期の業況は「良い」16.7%、「変わらず」75.0%、「悪い」8.3%でD.I.8となっており、前期に比べ下降しています。来期の業況はD.I.▲16と更に大きく下降する模様です。



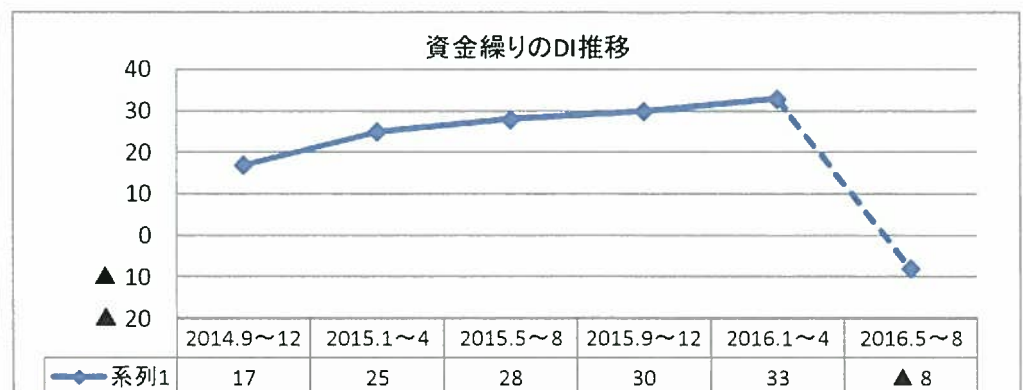
今期の売上は「良い」25.0%、「変わらず」75.0%、「悪い」0%でD.I.25となっており、前期に比べほぼ横ばいとなっています。来期の売上はD.I.▲8と更に大きく下降する見通しです。



今期の収益は「良い」33.3%、「変わらず」58.4%、「悪い」8.3%でD.I.25となっており、前期に比べ上昇しています。来期の収益はD.I.▲8と大きく下降する見通しです。

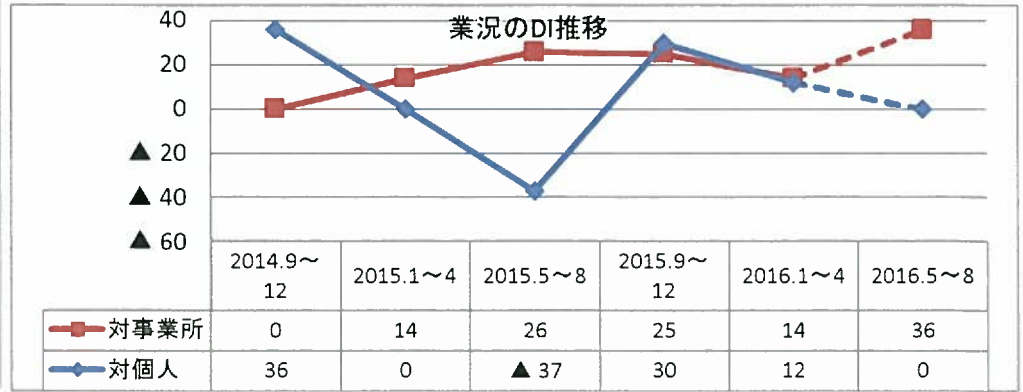


今期の資金繰りは「良い」33.3%、「変わらず」66.7%、「悪い」0%でD.I.33となっており、前期に比べ微増しています。来期の資金繰りはD.I.▲8と大きく下降する模様です。

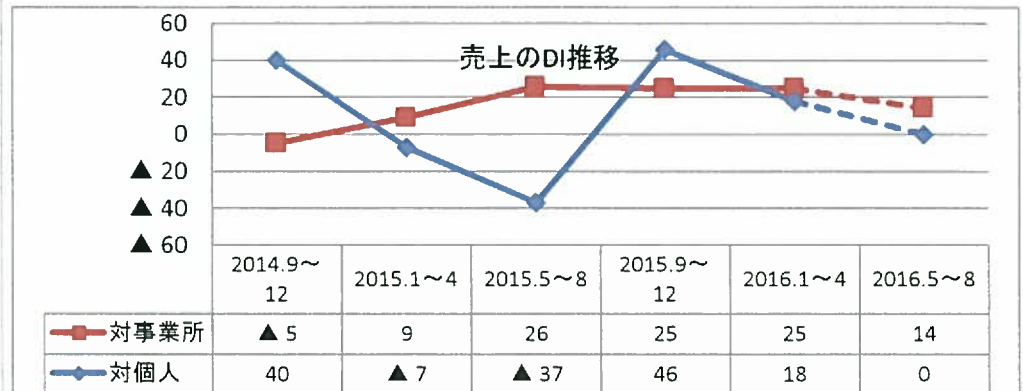


サービス業

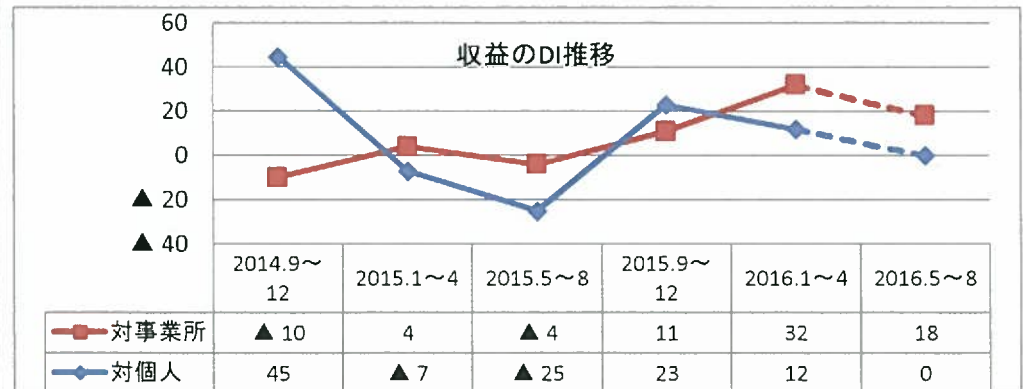
今期の対事業所向けの業況は「良い」28.6%、「変わらず」57.1%、「悪い」14.3%でD.I.14となっており、前期に比べ下降状況です。来期の業況はD.I.35と上昇する見通しです。
対個人向けは「良い」18.7%、「変わらず」75.1%、「悪い」6.2%でD.I.12となっており、前期に比べ下降しています。来期はD.I.0と引き続き下降する見通しです。



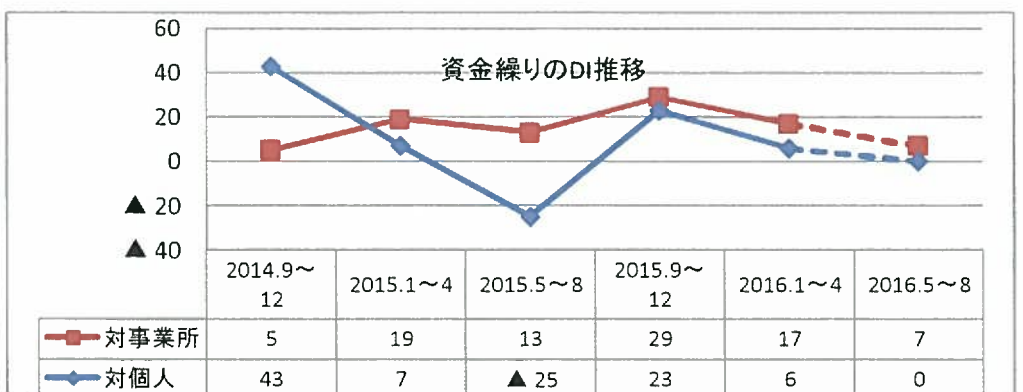
今期の対事業所向けの売上は「良い」32.1%、「変わらず」64.3%、「悪い」3.6%でD.I.25となっており、前期に比べほぼ横並び状況です。来期の売上もD.I.14とやや下降する見通しです。
対個人向けは「良い」31.3%、「変わらず」56.2%、「悪い」12.5%でD.I.18となっており、前期と比べ下降しています。来期はD.I.0と引き続き下降する見通しです。



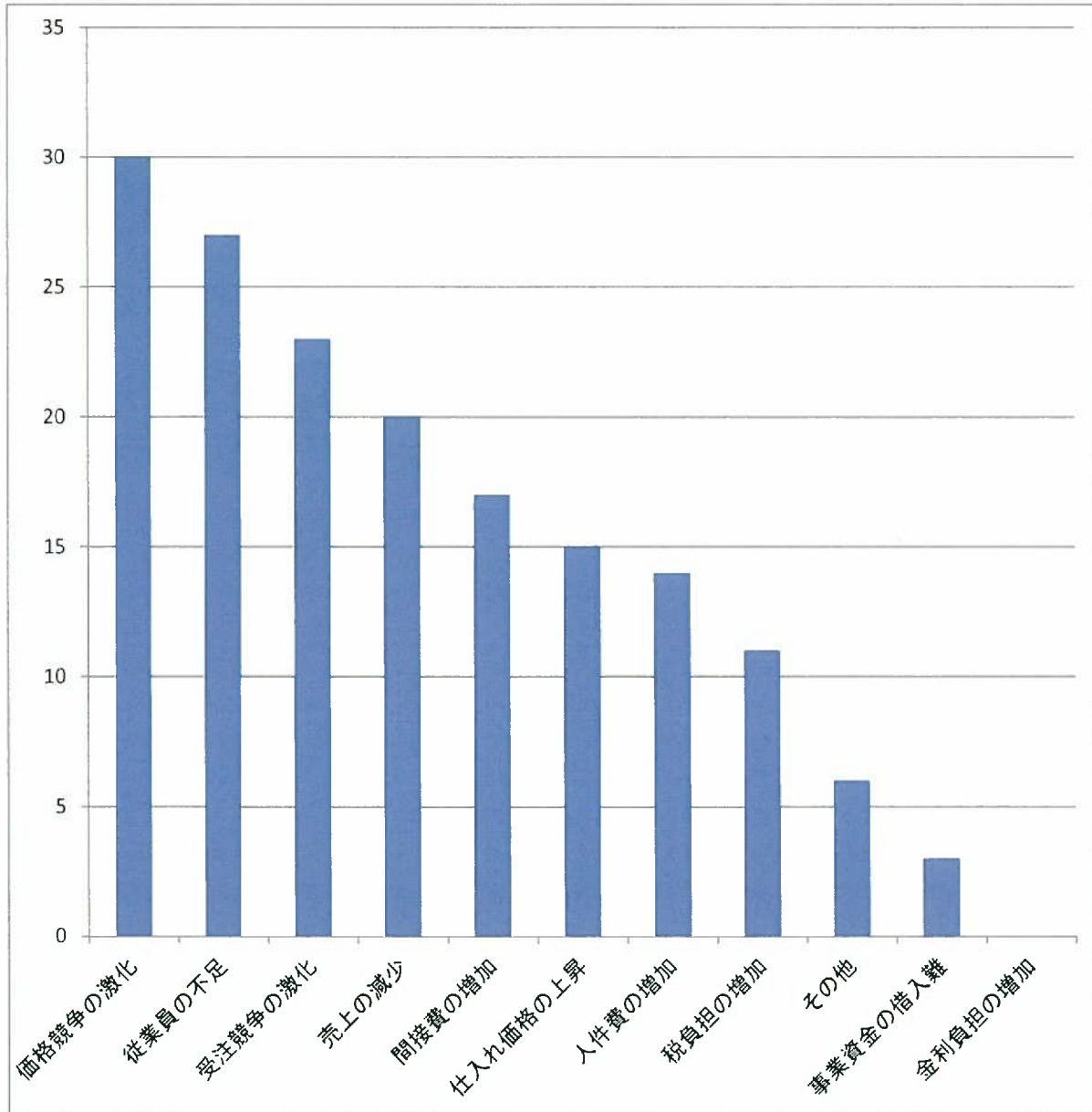
今期の対事業所向けの収益は「良い」35.7%、「変わらず」60.7%、「悪い」3.6%でD.I.32となっており、前期に比べ上昇しています。来期の収益はD.I.17と加工する見通しです。
対個人向けは「良い」25.0%、「変わらず」62.5%、「悪い」12.5%でD.I.12となっており、前期に比べ下降しています。来期はD.I.0と引き続き下降する見



今期の対事業所向けの資金繰りは「良い」28.6%、「変わらず」60.7%、「悪い」10.7%でD.I.17となっており、前期に比べ下降しています。来期の資金繰りはD.I.7と引き続き下降する見通しです。
対個人向けは「良い」18.7%、「変わらず」68.8%、「悪い」12.5%でD.I.6となっており、前期に比べ下降しています。来期はD.I.0と引き続き下降状況の見通しです。



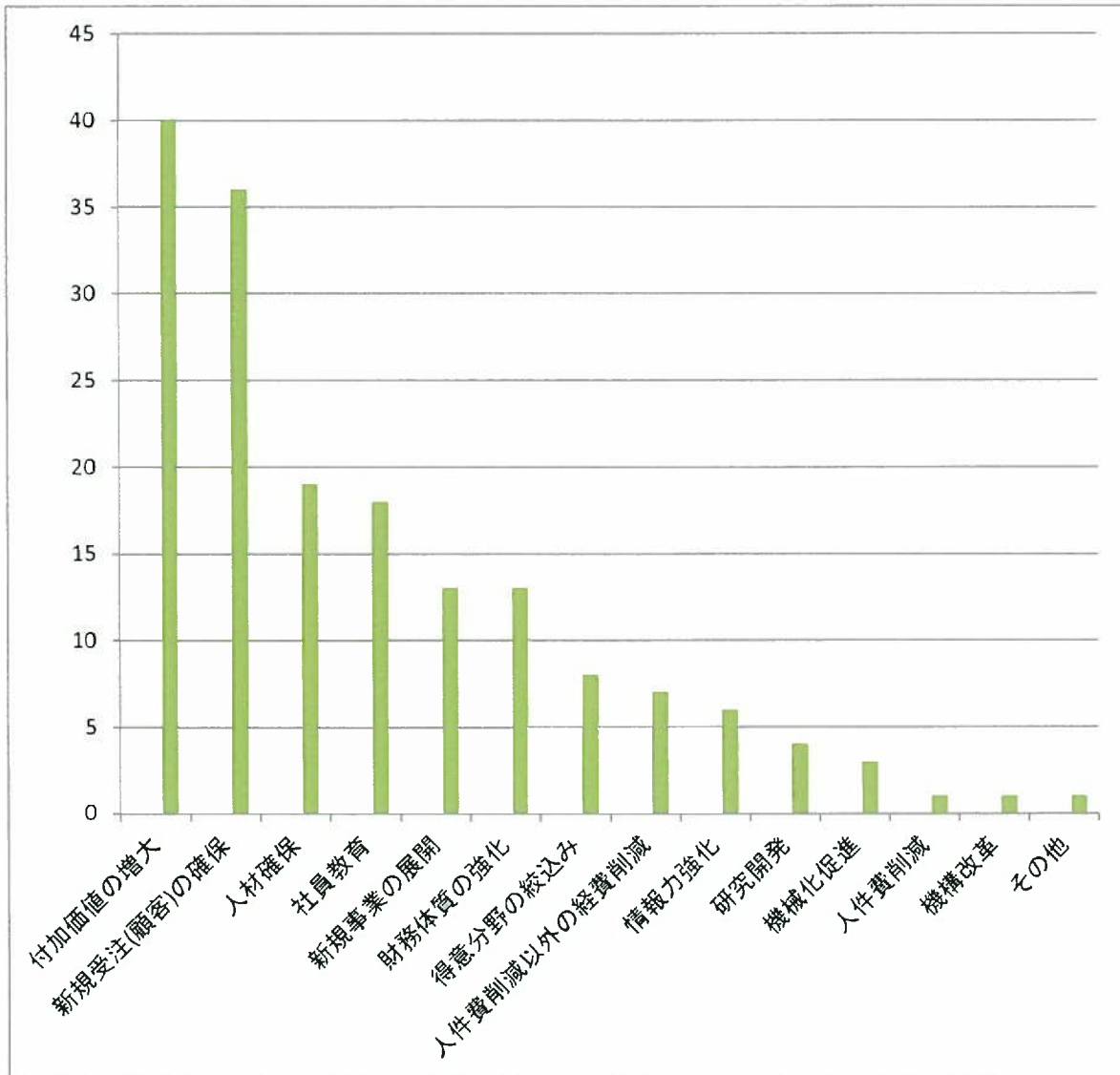
経営上の問題点



カテゴリー	件数	ウエイト
価格競争の激化	30	16%
従業員の不足	27	14%
受注競争の激化	23	12%
売上の減少	20	11%
間接費の増加	17	9%
仕入れ価格の上昇	15	8%
人件費の増加	14	7%
税負担の増加	11	6%
その他	6	3%
事業資金の借入難	3	2%
金利負担の増加	0	0%

166

経営上の力点



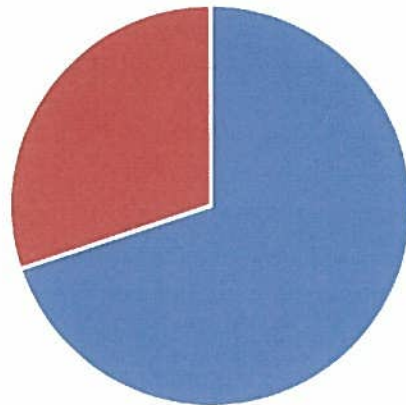
カテゴリー	件数	ウエイト
付加価値の増大	40	25.2%
新規受注(顧客)の確保	36	22.6%
人材確保	19	9.5%
社員教育	18	9.0%
新規事業の展開	13	6.5%
財務体質の強化	13	6.5%
得意分野の絞込み	8	4.0%
人件費削減以外の経費削減	7	3.5%
情報力強化	6	3.0%
研究開発	4	2.0%
機械化促進	3	1.5%
人件費削減	1	0.5%
機構改革	1	0.5%
その他	1	0.5%

170

あなたの会社は熊本震災の影響を受けましたか

無かった	65	69.9%
受けた	28	30.1%

あなたの会社は熊本震災の影響を受けましたか

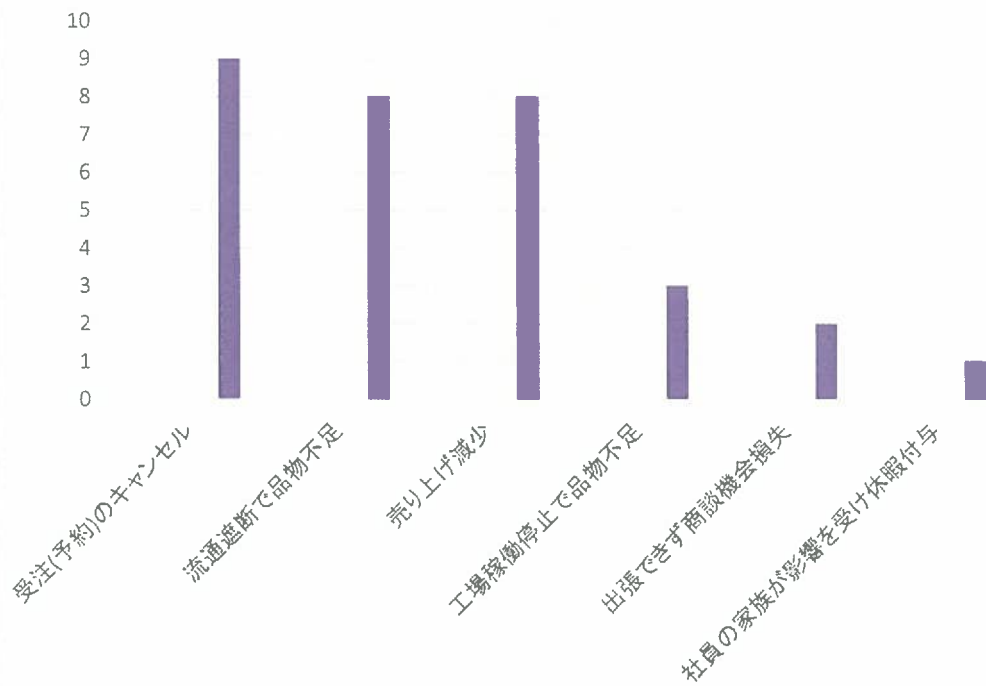


■ 無かった ■ 受けた

影響を受けた事象は何でしたか

受注(予約)のキャンセル	9
流通遮断で品物不足	8
売り上げ減少	8
工場稼働停止で品物不足	3
出張できず商談機会損失	2
社員の家族が影響を受け休暇付与	1

影響を受けた事象は何でしたか

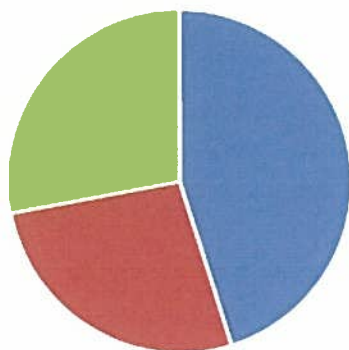


あなたの会社の防災体制について

① 会社の建物(自社所有、賃貸にかかわらず)は最新の耐震構造になっていますか

耐震構造に対応している	42	45.2%
耐震構造には未対応	25	26.9%
どちらか分からない	26	28.0%

会社の建物は最新の耐震構造になっていますか

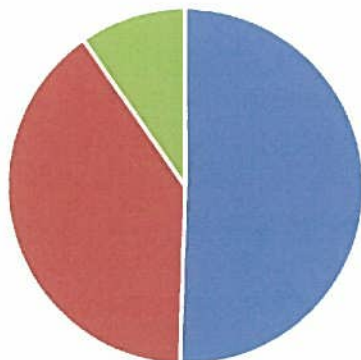


■ 耐震構造に対応している ■ 耐震構造には未対応 ■ どちらか分からない

② 顧客情報、取引詳細情報などのデータバックアップは

バックアップはこまめに行っている	47	50.5%
バックアップは時々行っている	37	39.8%
バックアップはとっていない	9	9.7%

顧客情報、取引詳細情報などのデータバックアップは



■ バックアップはこまめに行っている ■ バックアップは時々行っている
■ バックアップはとっていない